

2019 年度

昨日は学校周りの進入禁止のところに警察の方々が立ってらっしゃいましたので、嬉しくてご挨拶しました。結構朝から車が入ってきますよね。(怒) キッと睨んでやるのですが私が睨んだとして効果なし。警察の方がいつも立って目を光らせていただけたらなあ。



大江の風



5月8日
No. 8



『あいさつウィーク』という取組

大江小には「あいさつウィーク」という取組があります。昨日から令和元年第1回目が始まりました。4月に来たものにとってはびっくり。かわいい旗が立っています。そして子どもたちや先生方、保護者や地域の皆さんまで参加して下さったのあいさつ運動。正門前がにぎやかなこと。朝から明るい挨拶をかわし、とってもいい気持で学校生活がスタートできました。これからクラスごとに取り組みたり、縦割り班で取り組みたり、いろいろメンバーが変わっていくようです。いいことは楽しくやりたいですよ♥それが長続きの秘訣です。保護者や地域の皆様のご協力にも感謝いたします。

すごく嬉しい話を聞いちゃった・・・大江の研究の積み重ね

10連休中のお話。中尾先生が学校の周りの道を朝から掃いておられました。(えらい!)そこにご近所の方が通りかかり、立ち話をされたそうです。「子どもの声が聞こえないとさびしいわ」そして続けて「大江の子どもはあいさつが上手ね。ちっちゃな低学年の子どもも、「おはよう」「こんにちは」と言っ、立ち止まって礼をしてくれるのよ。すばらしいわ。それって上級生のお兄ちゃん、お姉ちゃんのまねしているのよね。上級生がよく立ち止まって礼をしてくれるのよ。」という風なことをおっしゃったそうです。これですよ! こういう姿は、大江がこれまでずっと続けてきた教育の証みたいなものだと思います。特別活動と道徳科を軸にし、10年以上も研究・実践を続けてきたことが、子どもたちの姿で、地域での行動に表れつつあります。大江の学校風土・学校文化、よき伝統として子どもの姿で引き継がれていく・・・とてもうれしいことです。

文科省がいう、「新しい時代に求められる資質・能力」は次の3つです。

ア 生きて働く「知識・技能」の習得 (何を理解しているか、何ができるか)

イ 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成 (理解していること・できることをどう使うか)

ウ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵かん養 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)

今回の改定で特長的なのはウの「学びに向かう力、人間性等」です。アとイをどのような方向性で働かせるかを決定づける重要な要素なのです。そのためには、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係が自主的に形成する態度等が必要です。また、多様性を尊重する態度やお互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどの人間性等に関するものも幅広く含まれています。まさしく大江がめざしているところはそこです。学校での学びを人生や社会に生かそうとする力を蓄えていきます。そして、よりよく生きていくための基盤となる道徳性を養う道徳教育は、学校教育だけでなく家庭や地域とが連携し、三者が同じ方向を向いて行うことが大切です。本日「子どもに身に付けてほしいことに関するアンケート」を配布しております。保護者の方は、子どもたちが自立した大人になるために、どんな力をつけてほしいと願っていらっしゃるでしょうか。学校と家庭と一緒に、子どもたちの心と行動力を育てていければと思います。ご協力よろしくお願ひします。

おまけ 2年生が1年生を連れて学校探検。ここは何のお部屋かを上手に説明してくれていました。ナイス! りっぱな先輩です。



おまけ 校医さんに来ていただき検診が続きます。昨日の高学年の検診は、廊下に座って黙って待ち、スムーズに進行していました。すばらしい態度だったわよ。

